

山形県大蔵村肘折地区で発生した斜面崩壊への対応について

4月10日に山形県大蔵村肘折地区で発生した地すべり性の斜面崩壊について、これまで山形県と国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所は共同して、崩壊斜面の調査・監視を行うとともに、大蔵村と連携しながら住民説明会等も行い対応を検討して参りました。

監視の結果、今回崩壊が発生した斜面の上部には、まだ不安定な土塊が滑動を続けており、この状態が続くと早ければゴールデンウィーク前にも再度崩壊が発生する可能性が高く、銅山川を閉塞する可能性があることが分かりました。最悪の場合、直上流の下水処理施設・温泉施設等が浸水被害を受ける危険性があります。

このため、山形県と東北地方整備局新庄河川事務所は協同して、監視カメラや各種センサによる地すべりの監視を24時間体制で継続するとともに、河道が閉塞した場合に備えて、本日より下記の事前対策工事を開始しました。（別紙参照）

○河道の閉塞で堰き止められた場合の銅山川の流水を排水するための、排水ポンプ車の準備及び排水路の開削

○肘折温泉街への浸水を防ぐための大型土のうによる応急的な堤防の設置

また、これらの工事等に必要の災害対策用機材として、対策本部車、衛星通信車、照明車、排水ポンプ車等の車両も配備します。

また、マスコミ関係者に対して現地での説明会を、4月27日の午前中に開催する予定です。説明会の詳細な案内は別途ご連絡します。

☆ 発表記者会

宮城県政記者クラブ・東北電力記者会・東北専門記者会・山形県政記者クラブ・新庄新聞放送記者会

【問い合わせ先】

山形県 県土整備部

河川課 課長 會田 秀一 023-630-2620

砂防・災害対策課 課長 佐藤 義治 023-630-2613

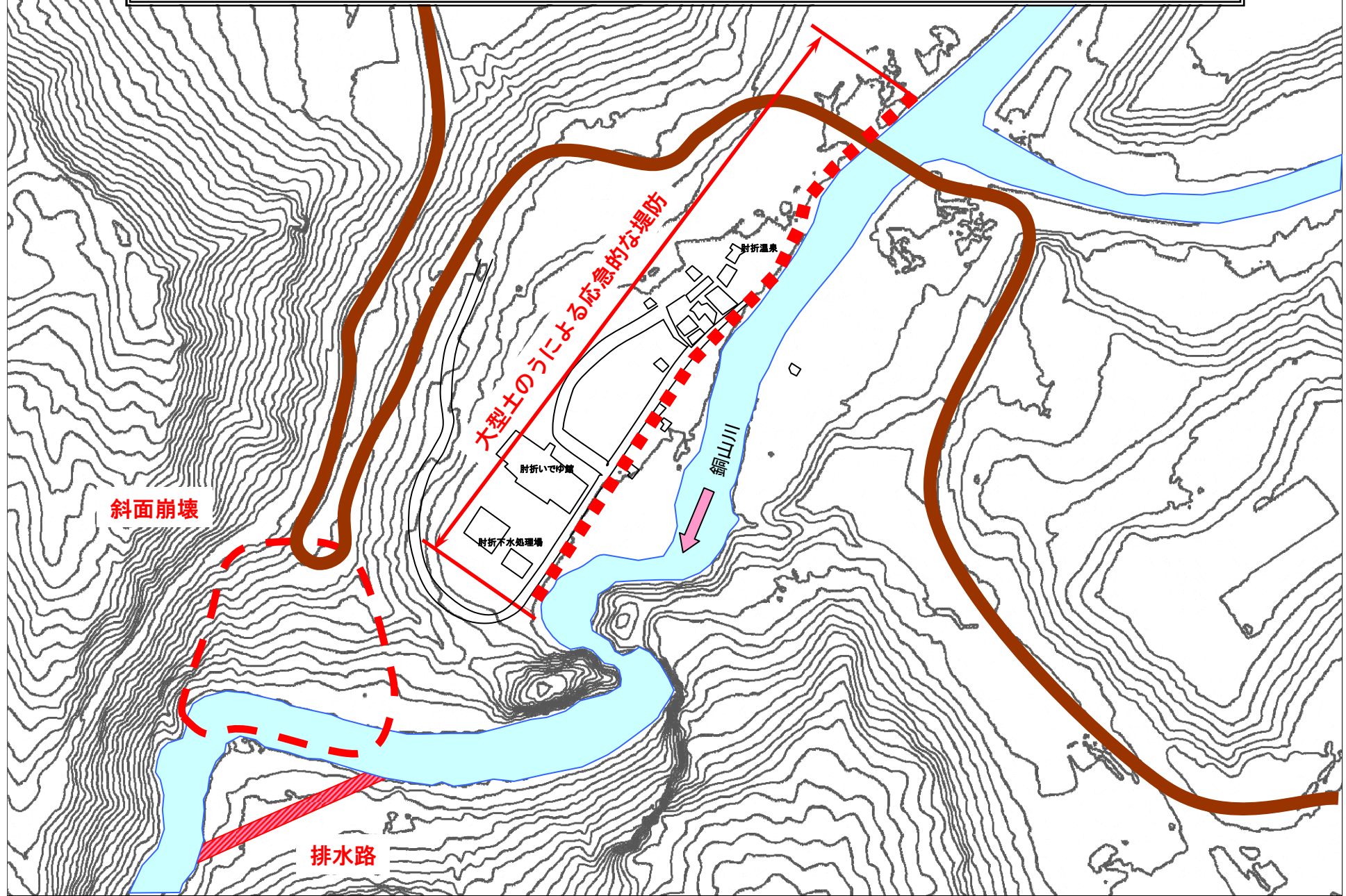
FAX 023-625-3866

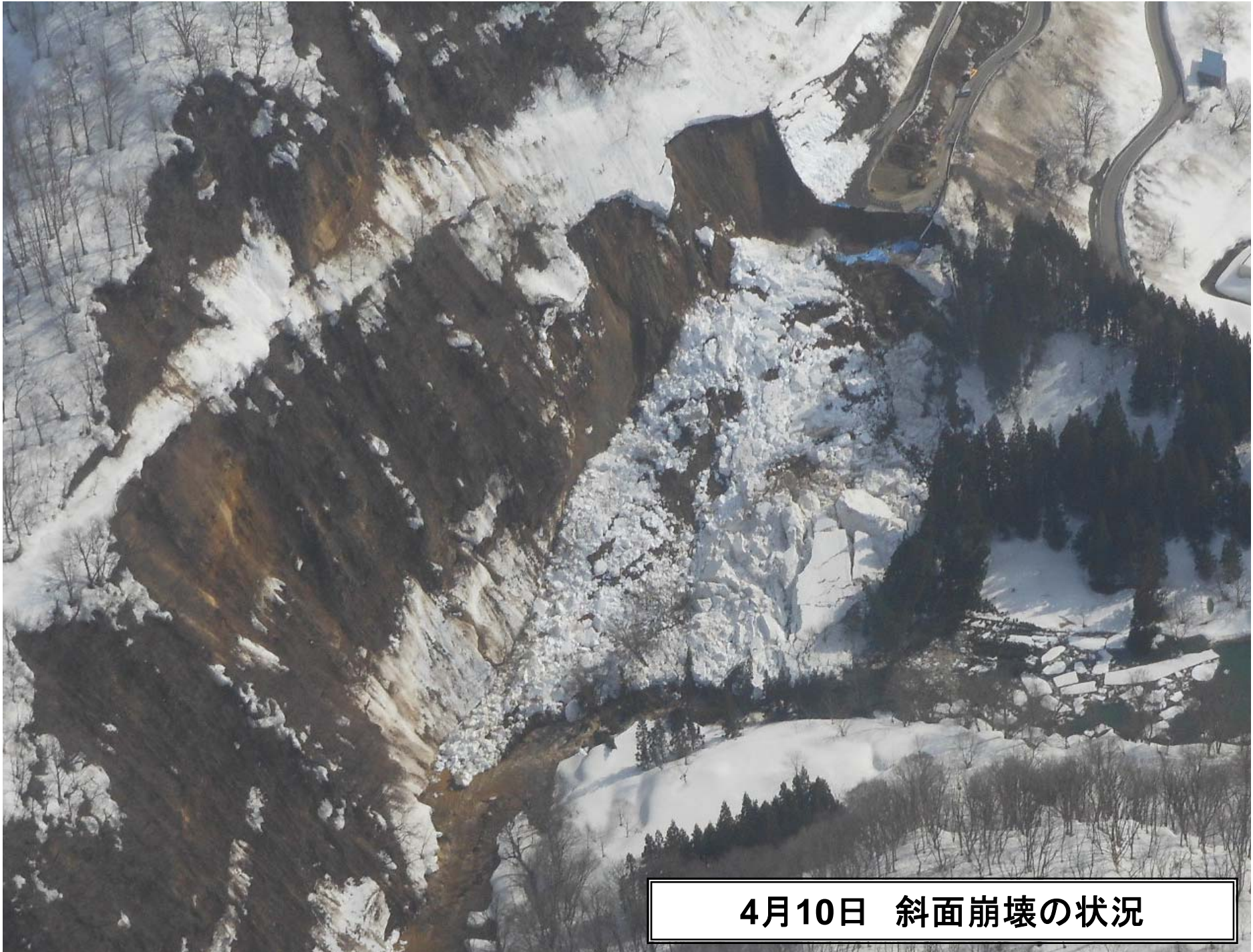
国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

(河川) 副所長 齋藤 信哉 (内線 205) 0233-22-0251

FAX: 0233-22-0251

山形県大蔵村肘折地区の斜面崩壊への対応





4月10日 斜面崩壊の状況

